

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成16年9月30日(2004.9.30)

【公開番号】特開2002-263288(P2002-263288A)

【公開日】平成14年9月17日(2002.9.17)

【出願番号】特願2001-65337(P2001-65337)

【国際特許分類第7版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成15年9月17日(2003.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の識別情報を変動表示可能な変動表示装置と、  
前記複数の識別情報が変動表示される変動表示遊技の結果、予め定められた特定の停止態様となることに関連して、遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能な制御を行う特別遊技状態制御手段を有する制御装置とを備える遊技機において、  
前記制御装置は、  
前記特別遊技状態中に、リーチ状態におけるリーチ演出に出現可能に設定されている複数のキャラクタを出現させると共に、該複数のキャラクタの中から特定のキャラクタを選択することで演出表示の結果を導出するキャラクタ選択表示を行うキャラクタ選択表示手段と、

前記特別遊技状態中の演出表示の結果に関連して、特別遊技状態終了後の遊技の演出に関する設定を変更可能な演出設定変更手段とを備え、

前記演出設定変更手段は、

リーチ状態における前記選択されたキャラクタを伴うリーチ演出に対する信頼度を変更する信頼度変更手段を含み、

前記信頼度変更手段による信頼度の変更が決定された場合に、前記制御手段が備える信頼度報知手段が該変更後の信頼度を報知することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記特別遊技状態中の演出表示の結果に関連して、前記特別遊技状態終了後に、次の特別遊技状態が発生しやすい特定遊技状態になることが決定されることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するため、請求項1記載の発明は、複数の識別情報を変動表示可能な変動表示装置と、

前記複数の識別情報が変動表示される変動表示遊技の結果、予め定められた特定の停止態様となることに関連して、遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能な制御を行う特別遊技状態制御手段を有する制御装置とを備える遊技機において、

前記制御装置は、

前記特別遊技状態中に、リーチ状態におけるリーチ演出に出現可能に設定されている複数のキャラクタを出現させると共に、該複数のキャラクタの中から特定のキャラクタを選択することで演出表示の結果を導出するキャラクタ選択表示を行うキャラクタ選択表示手段と、

前記特別遊技状態中の演出表示の結果に関連して、特別遊技状態終了後の遊技の演出に関する設定を変更可能な演出設定変更手段とを備え、

前記演出設定変更手段は、

リーチ状態における前記選択されたキャラクタを伴うリーチ演出に対する信頼度を変更する信頼度変更手段を含み、

前記信頼度変更手段による信頼度の変更が決定された場合に、前記制御手段が備える信頼度報知手段が該変更後の信頼度を報知することを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

ここで、リーチ状態とは、例えば、変動表示している複数の識別情報のうち、1つを変動させたままにして、残りの識別情報を所定の組み合わせ（例えば同一数字）で停止表示させる等の状態をいう。

リーチ演出とは、前記リーチ状態となった際に、通常の識別情報の変動表示とは異なる演出を行うものであり、例えば、1つだけ変動している識別情報をスロー変動、コマ送り変動、拡縮変動させたり、変動表示装置の表示画面にキャラクタを出現させて動作させながら変動させたりする等が挙げられる。

信頼度とは、リーチ状態において、各リーチ演出が表示されたときに特別遊技状態（大当たり）が発生する割合（可能性）を示すものであり、それぞれのリーチ演出に予め定められているものである。なお、信頼度が設定されていないリーチ演出があっても良い。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

「変更後の信頼度を報知する」タイミングは、特別遊技状態中の演出表示の結果が出た後の所定のタイミングで良い。例えば、キャラクタによるレースの着順が決定した後や、くじなどの抽選結果が出た後の適宜のタイミングであり、これらの結果が出た後であれば、特別遊技状態中でも、特別遊技状態終了後でも良い。

「変更後の信頼度を報知する」方法としては、変動表示装置の表示画面の一部又は全部に、リーチ演出と変更後の信頼度の関係を表示するのが適当と考えられるが、他の表示装置や音声等によってリーチ演出と信頼度の関係を報知するようになっていても良い。また、報知する時間も適宜で良く、例えば、一定時間報知してその後は報知しないようにしても良いし、次の特別遊技状態が発生するまで常に報知していても良いし、一定の間隔で断続的に報知するようにしても良い。さらに、変動表示装置の表示画面に表示する場合の表示方法等も適宜で良く、例えば、信頼度の変更されたリーチ演出と当該変更後の信頼度を表示するようにしても良いし、全てのリーチ演出とその信頼度を表示するようにしても良いし、リーチ演出を信頼度の高い（又は低い）順に並べて表示するようにしても良い。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

出現させるキャラクタとしては、例えば、リーチ状態におけるリーチ演出に出現するキャラクタ、予告における予告演出に出現するキャラクタ、デモ表示画面に出現するキャラクタ等の遊技中に出現するキャラクタが挙げられる。

「特定のキャラクタを選択する」に当たっては、一のキャラクタを選択しても良いし、複数のキャラクタを選択するようにしても良いし、その時々によって選択するキャラクタの数を変化させても良い。また、複数のキャラクタを選択する際には、キャラクタ間で順位を付けた状態で選択するようにしても良い。

キャラクタ選択表示としては、例えば、キャラクタ同士でレース等を行って順位をつけ、1位又は上位のキャラクタを選択して演出表示の結果を導出するもの、並んでいる複数のキャラクタの中からくじ引きなどで特定のキャラクタが選ばれることで演出表示の結果を導出するもの等が挙げられる。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

この請求項1記載の発明によれば、演出設定変更手段により、特別遊技状態中に行われる演出表示の結果と、特別遊技状態終了後の遊技の演出に関する設定を関連付けることができるため、遊技に変化を持たせることができると共に、遊技者に特別遊技状態中の演出表示に対する興味を持たせることができ、遊技の興趣を高めることができる。

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、信頼度変更手段により、特別遊技状態中に行われる演出表示の結果と、特別遊技状態終了後におけるリーチ演出に対する信頼度の変更を関連付けることができる。特別遊技状態が終了してから、次の特別遊技状態が発生するまでの間において、リーチ状態となったときに信頼度の高いリーチ演出が表示されるか否かは、遊技者にとって大きな関心事であり、そのリーチ演出に定められた信頼度に変更されることにより、遊技に変化を持たせることができると共に、リーチ演出の信頼度の変更に関わる特別遊技状態中の演出表示に遊技者は興味を持つことになり、遊技の興趣を高めることができる。

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、信頼度に変更されたリーチ演出及び当該変更後の信頼度が、遊技者に報知されるため、遊技者はどのリーチ演出の信頼度がどのように変更されたのかを容易に知ることができ、さらに遊技の興趣を高めることができる。

## 【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0014  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正10】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0015  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正11】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0016  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正12】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0017  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正13】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0018  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正14】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0019  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正15】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0020  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正16】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0021  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0021】

特に、特別遊技状態中に行われるキャラクタ選択表示の選択結果と、選択されたキャラクタを伴うリーチ演出の信頼度が密接に関連してくるため、遊技者はより特別遊技状態中のキャラクタ選択表示に興味を持つことになり、さらに遊技の興趣を高めることができる。

## 【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

請求項2記載の発明は、請求項1に記載の遊技機において、前記特別遊技状態中の演出表示の結果に関連して、前記特別遊技状態終了後に、次の特別遊技状態が発生しやすい特定遊技状態になることが決定されることを特徴としている。

## 【手続補正 20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

この請求項2記載の発明によれば、特別遊技状態中の演出表示の結果に関連して、確率変動状態等の特定遊技状態を発生させる決定を行うので、特別遊技状態中の演出表示が、遊技者の利益により深く関連し、遊技者は、一層、特別遊技状態中の演出表示に注目することになる。

## 【手続補正 21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 24】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0030  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

【手続補正25】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0063  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0063】

前記遊技価値付与制御手段20bは、遊技価値判定用乱数（特図の大当たり判定用乱数）を生成し、例えば、特図始動センサ9bの検出信号の入力等に基づいて遊技価値判定用乱数値（特図の大当たり判定用乱数値）を抽出記憶し、この抽出記憶した遊技価値判定用乱数値と予め設定された判定値（大当たり判定値）とを比較して遊技価値を付与するか否か（特別遊技状態を発生させるか否か）を判定し、この判定結果に基づいて変動表示装置4aで識別情報が特定の停止態様（例えば、「1, 1, 1」などのぞろ目）を導出したときに、所定の遊技価値を遊技者に付与可能とする制御（前述したような特別変動入賞装置5の開閉制御による特別遊技状態の発生）を行うものである。

【手続補正26】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0072  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0072】

なお、図7に示すように、演出情報格納記憶手段20f（図6における演出情報群記憶手段20dと演出情報格納記憶手段40cの両方の機能を合わせたもの）を遊技制御手段20a（遊技制御装置20）に備えて、演出情報の選択を、遊技制御装置20の演出情報群指定手段20cで全て行ってしまうことも考えられる。この場合は、変動表示時間と演出情報（リーチ演出等）を遊技制御装置20で決定して、表示制御手段40a（表示制御装置40）にデータを送るので、表示制御手段40aはそのデータ通りに表示制御すればよく、表示制御装置40の負担を軽くすることができる。また、演出設定変更手段及び信頼度変更手段も遊技制御装置20のCPU21a等に含ませることになり、演出設定の変更に必要なデータを遊技制御装置20側に置くことになる。このようにすれば、前記したように表示制御装置40の負担を軽くすることができるのみならず、表示制御装置が比較的簡単な構成の装置で良くなるため、複数の機種で表示制御装置を共通化できるという利点も生じる。

【手続補正27】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0087  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0087】

また、遊技者にとって大きな関心事であるリーチ演出に定められた信頼度が変更されることにより、遊技に変化を持たせることができると共に、リーチ演出の信頼度の変更に關わる特別遊技状態中の演出表示に遊技者は興味を持つことになり、遊技の興趣を高めることができる。

【手続補正28】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0088

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0088】

また、信頼度が変更されたリーチ演出及び当該変更後の信頼度が、遊技者に報知されるため、遊技者はどのリーチ演出の信頼度がどのように変更されたのかを容易に知ることができる。さらに遊技の興趣を高めることができる。

【手続補正29】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0089

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正30】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0090

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正31】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0091】

特に、特別遊技状態中に行われるキャラクタ選択表示の選択結果と、選択されたキャラクタを伴うリーチ演出の信頼度が密接に関連してくるため、遊技者はより特別遊技状態中のキャラクタ選択表示に興味を持つことになり、さらに遊技の興趣を高めることができる。

【手続補正32】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0092

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正33】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0093

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0093】

請求項2記載の発明に係る遊技機によれば、特別遊技状態中の演出表示の結果に関連して、確率変動状態等の特定遊技状態を発生させる決定を行うので、特別遊技状態中の演出表示が、遊技者の利益により深く関連し、遊技者は、一層、特別遊技状態中の演出表示に注目することになる。

【手続補正34】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0094

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正35】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0095  
【補正方法】削除  
【補正の内容】